

第2次愛荘町地域福祉活動計画

みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり



【イラスト】田中 奈央 様 (愛荘町登録ボランティア)

平成29年3月

第2次愛荘町地域福祉活動計画策定委員会
社会福祉法人 愛荘町社会福祉協議会



みんなが参加ある

魅力ある活動に

一緒に取り組
みましょう♪



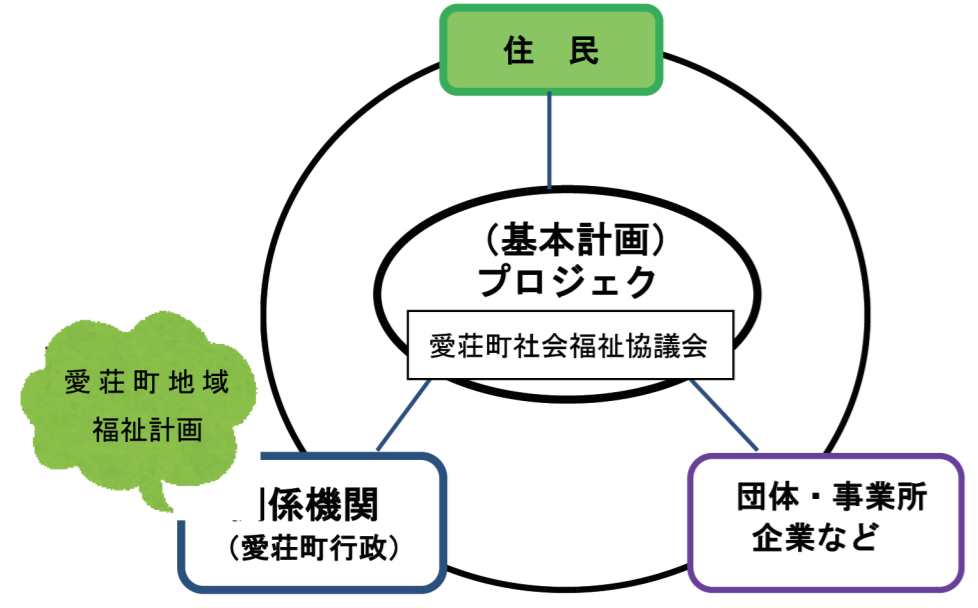
愛荘町社会福祉協議会
イメージマーク

イメージマークに込められた想い

マークの内側の円は、愛荘町地域を表しています。外側の円は社協をイメージし、内側の地域および、3人の人物（個別課題を抱える方や「地域で何かをしたい」という思いがある方、そのような方をサポートする方）を両手で丸く包み込みます。そして、福祉（＝幸せ）をみなさんの笑顔で表現しています。

計画をすすめる体制図

第2次計画では、5つのプロジェクトに、住民のみならず関係機関・団体、事業所、企業などの方々に参加いただき、福祉のまちづくりを進める具体的な方法について、みんなで考え取り組みます。



愛荘町社協の役割

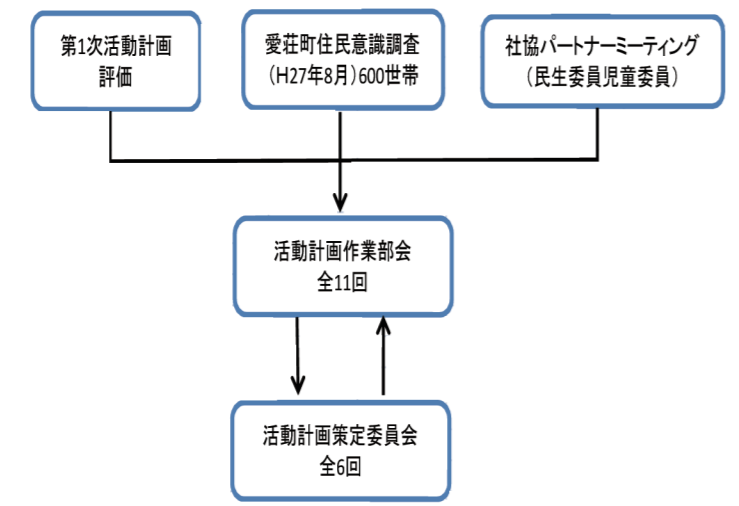
地域福祉を進める中核の団体として、5つのプロジェクトに関わり、住民主体の地域福祉活動を考え取り組みます。

- 住民と関係機関・団体などをつなぐコーディネート（ネットワークづくり）をすること。
- 地域福祉をすすめるために必要な活動や事業の提案・振り返りを行う。

第2次計画のなりたち

第2次計画は、より住民のみならずの身近な福祉活動計画となるように、第1次計画の評価と、愛荘町住民意識調査や民生委員児童委員とのパートナーミーティングなど、みなさまのくらしの声や活動の課題を聞かせていただきました。

これらのことを、住民や介護福祉施設、ボランティア、行政などで構成する策定委員会で協議しました。



社会福祉法人 愛荘町社会福祉協議会 (ホームページ <http://aisho-shakyo.or.jp>)

- 愛知川事務所 滋賀県愛知郡愛荘町市 731 TEL0749 (42) 7170 FAX 0749 (42) 7178 E-mail ainosato@ex.bw.dream.jp
- 秦荘事務所 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 1216-1 TEL0749 (37) 8063 FAX 0749 (37) 4343 E-mail hata-shakyo@crux.ocn.ne.jp 有線 2043

- ふれあい共同作業所 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川 1749-1 TEL0749 (42) 2264 FAX 0749 (42) 2264 E-mail ai.fureai@bz03.plala.or.jp

計画の体系図

みんなですすめる地域福祉

第2次愛荘町地域福祉活動計画は、住民自身が主人公となり、安心して生活できる、住みやすい福祉のまちづくりを進めることを目的としています。そのため、住民同士のつながりや、気軽な対話が広がるために必要なことを、住民のみなさまに「プロジェクト」として提案しています。

子どもからお年寄りまでが自分らしい形で地域福祉活動に参加できる、**ワクワクする魅力ある取り組み**を住民のみなさまとともに考え進めます。



地域福祉ってなに??

おたがいさま 誰もが住みやすい地域にするために、人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくことです。ご近所さんとのあいさつや会話も「地域福祉」の第一歩です。

活動計画ってなに??

みんなの道しるべ 愛荘町で暮らすみなさまの「こんな地域（まち）に住み続けたいな」という思いを、どのように実現するかを示す、「福祉のまちづくり行動計画」のことです。地域住民、ボランティアや福祉施設などの関係機関と社会福祉協議会が協力してつくります。

第2次計画のポイント!!

- ① 住民意識調査での住民の声 → 住民同士の対話や交流が必要
- ② 第1次計画の評価 → 暮らしの困りごとや不安を解決する「しくみ」が必要
- ③ 活動計画策定委員会での意見 → 地域づくりには、住民みんなの参加が必要!

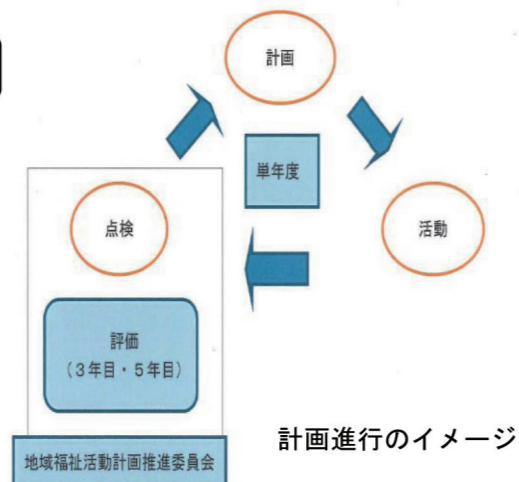
⇒5つのプロジェクトで取り組みを実践してみよう!

計画目標である「魅力ある福祉活動」とは、**みんなが**りかいして取り組む、地域が**よくなる**らしの活動のことです。

実施期間：平成29年度から平成33年までの5カ年計画

第2次計画は、「地域福祉活動計画推進委員会」において、年度ごとに活動や事業などの取り組み内容を点検します。

計画実施3年目（平成31年度）と5年目（平成33年度）には、評価を行います。



計画進行のイメージ

理念

みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり

目標

私たちが参加する 魅力ある福祉活動を みんなで話し合い取り組みます

語句説明

★第2次活動計画で使用している「みんな」という語句は、愛荘町に関わるあらゆる機関、団体、企業、福祉に関わる専門職、住民などすべての方を指します。

基本計画

取り組み内容

第2次活動計画は「みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」の理念のもと、私たちの身近な福祉活動に参加し、話し合い、取り組むことにより魅力ある福祉活動をみんなで築き上げることを目標に定め、みんなが一体となってそれぞれのプロジェクトに取り組みます。

①見守りネットワークプロジェクト

一人ひとりの見守りの意識を高め、みんなが楽しみながらおこなえる地域ぐるみの福祉活動

- a. 地域の見守り活動に参加する人を増やします
- b. みんなが出会い集まる場をつくります
- c. 住民主体の見守り活動をさらに充実していきます
- d. 地域みんなのつながりを広めたネットワークをつくります

②くらしサポートプロジェクト

地域住民の困りごとに気づき、「つなげる」しくみと「くらしにくさ」を抱える方々を支援する体制

- a. 日常の困りごとに素早く対応できるしくみをつくります
- b. 一人ひとりの状況に合わせた地域支援のしくみをつくります
- c. 不安や困りごとを抱える方の居場所をつくります

③ボランティアセンタープロジェクト

ボランティアの参加と活動の場が、充実する魅力ある福祉活動

- a. 参加のきっかけをつくります
- b. 活動の場を広めます
- c. ボランティアをつなぐ・調整する場を充実します
- d. ボランティア情報などの広場をつくります

④福祉教育プロジェクト

みんなが福祉に興味を持ち、お互いに理解し合うきっかけがとれる福祉活動

- a. 子どもたちが福祉に興味を持ち、理解する機会をつくります
- b. 地域で福祉を学ぶ場をつくります
- c. 不安や困りごとを抱える方たちとお互いに理解し合う機会をつくります

⑤地域を守る災害支援プロジェクト

災害時の支援活動について、みんなが一人ひとりのことを考えた行動のできる体制づくり

- a. 災害支援ボランティア活動を充実します
- b. 災害時要配慮者（当事者）と一緒に地域防災について考えます

いいね！プロジェクト！

